

協力隊通信

玉川 渉

5月の活動報告

地域おこし協力隊
耕野地区担当

川部 幸太
玉川 渉

第24号 2020.6.1



たけのこの水煮づくり



たけのこを縦に割って加工する

5月上旬～たけのこの出荷がピークになる頃、ころたけの郷で、たけのこ加工品(水煮)づくりのお手伝いをさせて頂きました。作業はたけのこの皮を剥くところから、茹で、水にさらし、パッケージングまで色々な工程を、経験することができました。収穫したばかりのたけのこを新鮮なうちに加工するため、作業場は大忙しでしたが、そんな中でも優しく作業について教えてくれた皆さんに感謝です。

竹筒づくり



竹の片面を開け、容器と蓋を作る



竹筒たけのこ飯と白米

先月に続き、大崎市にあるポニー牧場でのイベント手伝いに行ってきました。竹筒でたけのこ飯を作るということで、調理に使う竹筒づくりを担当しました。前回苦戦した作業でも、今回は道具や作業手順を見直すことで、効率的にできたとおもいます。出来上がったご飯も好評でした。

会場で、タケノコを一本掘らせていただいたのですが、掘り出したたけのこの脇に小さな黄色いたけのこが付いていて、詳しい方に聞いてみると、アクが弱いので生でも食べられるよ、と教えていただきました。一口かじってみたところ、若干苦味はあるものの、濃厚なたけのこの風味が感じられました。



偶然見つけた
小さなたけのこ

野菜栽培



うね立てとマルチがけをしました



苗が、徐々に育ってきました

苗の定植に向けて、うね立てとマルチがけを行いました。今年は去年より多くの耕うんも行ったため、雑草の勢いも緩やかな気がします。畑では、ザンビアプロジェクトで普及したり、現地の農村で実際に育てられている品種を参考に、それらに近い種類の野菜を育てていこうと考えています。

苗づくりでは、トマト、カボチャ、ビーツ、枝豆、ささげ、落花生、そら豆などの種まきを行い、定植できる大きさに育つまでセルトレイで管理しています。

ザンビア・丸森プロジェクト

現在、新型コロナウイルスの世界的流行につき、プロジェクトの開始時期が未定となっておりますが、現地との連絡や、農作業など、丸森でできることを進めています。今後も、プロジェクトに関連する活動でできることがあればやっていきたいと思っております。

川部幸太 5月の活動報告

メンマプロジェクト加速！

昨年から試作・研究を重ね、29日にころたけの郷で第1回目のメンマづくり(タケノコ塩漬けの工程)を実施しました。当日は約40kgの幼竹(2m程度に伸びたタケノコ)を茹で、塩と一緒に樽に漬け込みました。

今年は製品化・販売を目指して取り組んでいますがこのプロジェクトは動き出したばかり。今後さらにプロジェクトを拡大していけるよう、引き続き研究を重ね、販路開拓も進めていきます。

このプロジェクトを通じてたけのこの価値向上や特産品開発によるファンの増加、竹林整備の推進による景観の美化を進めていきたいと考えています。いろいろな場面で皆さんからご協力いただけたら嬉しいです！



川部農園引き続き整備中...

5月も、連休含め農園の整備に取り組みました。

山菜の中でも特に好きなコゴミを苗でいただき移植したり、単管パイプで下屋づくりをしたり、穴を掘って排水性を改善したりしました。

4月に引き続き母が月の半分くらい手伝ってくれています。農業はひとりではやりきれないかと改めて実感しています、

6月からは新型コロナの自粛要請がだんだん解除されていき、例年実施していたイベントも動き出すかと思えます。また忙しくなりますが、農園のほうも手を抜かず進めていきます！



幅6.5mの下屋。もう少し骨を組んで屋根を張り完成予定！



コゴミを植えた直後の様子。来年収穫できるかな？

耕野小たけのご掘りに同行！

13日、休校期間中の登校日に全校児童でたけのご掘りを実施するという話を聞いて取材に行き、一緒にたけのごを掘ってきました！
久々に子供たちの元気な顔を見れて安心しました。6月からは授業と放課後児童クラブも再開。また放課後に会えるのが楽しみです♪



今月の出来事

- ☆ 農園に切り株(玉切りしたもの)の作業台を設置しました。
雰囲気がいい感じ。
どっしりとした安定感があり、細かい作業もはかどります！



- ☆ 竹だけではなく生木の加工にも挑戦。農園に生えていたホオノキの枝からフォークとスプーンを切り出してみました。繊維が大きく曲がっていたりコブがあったり、竹とはまた違った難しさや面白さがあります。まだまだ完成度が低いので、いいものができたら紙面に載せたいなあ。